

Monday

都社会人リーグ1部「FC町田ゼルビア」

リポート

マンデー

Report

「自分のチーム」
七月四日に行われたリーグ第十一節。ホームの町田市立陸上競技場(野津田) 観客席に詰めかけたサポーターは三百人を超えた。ほとんどの人がそろいのユニホームを着用し、スタンド右端では太鼓や応援旗を掲げる専属応援団の姿も。まるでJリーグの試合風景だ。

対戦相手は当時リーグ暫定七位のFCコリア。前半に相手カウンターから失点を許すが、後半に入って立て続けに得点を決めた。劇的な逆転勝利に、スタンドの応援団は立ち上がり大騒ぎ。逆転ゴールを決めたFW竹中穂選手に「竹中ゴール」が鳴り止まなかった。

八回目の応援という町田市成瀬の挽田正臣さん(56)は、「今年から応援しているが、



チームが一生懸命に走るかという内田友美さん(35)も「最後まで楽しかった。もう自分たちのチームという感じがする」。

Jの夢追う地域クラブ

サッカー・Jリーグの下部リーグ、東京都社会人リーグ部に、一回の試合で三百人以上の観客を集める人気クラブチームがある。NPO法人(特定非営利活動法人)アスレチッククラブ町田が運営する「FC町田ゼルビア」だ。「わがまちのチームをJリーグ」という地域の声に後押しされたチームは快進撃を続け、現在リーグ二位。夢を追いかける地域とチームのあり方が共感を呼び、徐々に支援の輪が広がっている。(佐久間修志)



胸とパンツにはスポンサーのロゴ。ゼルビアの夢を資金面で支える

スタンドの一角を埋め尽くすゼルビアサポーター。チームの快進撃を後押しする

町田市はサッカー熱が高く、Jリーグ発足以前から小学生から入ることができ市民クラブチームもあるほど。地元チームからは、北沢豪選手や戸田和幸選手など、日本代表選手も輩出している。

ホームタウン

町田はサッカー熱が高く、Jリーグ発足以前から小学生から入ることができ市民クラブチームもあるほど。地元チームからは、北沢豪選手や戸田和幸選手など、日本代表選手も輩出している。

平成四年、そんな町田中にJリーグチーム「横浜フリューゲルス」が本拠地候補として着目。オーナーの全日空が市と交渉をもったことがあったが、ホームスタジアムや練習場整備といった条件を満たせず誘致を断念した。

しかし、地元の町田市民有志は、「Jリーグのホームタウンの一角を埋め尽くすゼルビアサポーター。チームの快進撃を後押しする」



現在リーグ2位のゼルビア。この日の対コリア戦も逆転勝利し、関東2部リーグ昇格は射程距離だ

サッカー協会とのマネジメント契約を締結するバックアップ体制を確立した。さらに横浜FCの竹中選手を獲得したほか、練習時間も倍近くまで増やした。

かつて「趣味の社会人サッカーチーム」だったゼルビアは、急速に「プロ」としての意識を高めた。一街の守屋実監督(56)は、「街の

広がる支援…快進撃で2位

みんなが誇りを持って応援できるチームにしたい。その基盤は固まってきた」と手応えを感じている。

スポンサー決定

ゼルビアは六月から、ユニホームを一新した。胸には番号に代わって新書本のタイトル「40歳からの仕事術」の文字。著者で経営コンサルタントの山本真司氏がチームの理念に賛同して協賛を快諾した。パンツにも市内のガス機器メーカー「澤井」のロゴが光る。J昇格の夢は地域の中にも広がりを見せている。

大宮市の藤田裕一さん(35)は、「浦和レッズも応援しているが、ゼルビアはJチームよりハンゲリー。純粋にサッカーが好きでやっているのが伝わる」と今年から応援を買って出ているという。

「Jのトップチームが忘れていているもの。それを彼らに持っている気がするんです」とピッチの選手たちに目を細めた。

ウソを捨てきれず、地元にあったクラブチーム「FC町田」を社会人リーグからJリーグと昇格させようと、町田サッカー協会に働きかけた。そして八年に「FC町田ゼルビア」と名称も変え、J昇格を目指すチームとして再出発した。

昨年十二月には、運営母体としてNPOを設立。町田サ

多摩

多摩支局
立川市曙町2-10-1
ふどうビル5F
〒190-0012
TEL 042-524-3166
FAX 527-7517
FAX 527-9853
FAX 0120-11-9571
E-MAIL 525-4138

あすのこよみ
(17日)
日 7月2日
月 友引



年齢	1.1
日出	01
日入	28
月入	18
月入	47
月入	5
月入	19
満潮	5:23
満潮	18:13
干潮	11:24
干潮	24:57
大潮	(東京)

バイク男性
衝突で死亡
府 中

分、府中判立町のカーを折ってきた乗用車と衝突した。市道交差点で、直進していた府中市白糸台、アル村上さんは病院に運ばれたが、全身を強く打ったバイクが、対向車線へおどり、まもなく死亡した。

府中署は道交法違反と業務上過失致傷の現行犯で、軽乗用車を運転していた同市清水が丘、私立